

省エネルギー

使用原料が減ることにより、原料を溶かすための消費燃料や消費電力が比例して少なくなります。

また、軽量化は、輸送燃料の節約にもつながります。

CO₂ 排出の削減

びんの軽量化は、製造時や輸送時において、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出を比例的に削減します。

軽くて持ちやすい

軽量化により、女性やお年寄り、お子様にも持ちやすくなります。実際に、人間工学的に握りやすい太さとデザインで、共用品(注)として活躍が期待されている軽量びんもあります。

(注) 共用品とは？

公益財団法人 共用品推進機構は、共用品の条件として「身体的な障害、機能低下のある人も、ない人も共に使いやすくなっているもの」などを提示しています。

(出典:日本ガラスびん協会)

軽量びんのエコマーク

環境に優しい商品の代名詞であるエコマーク商品類型では、対象製品が認定基準を満たしていれば、ISO14020、ISO14024に則り第三者機関「公益財団法人 日本環境協会」により「タイプI環境ラベル」表示が認められています。

2. 店舗で見かけるリデュース商品

食品スーパーに入っすぐ気が付くのが、裸売りしているたくさんの野菜類です。

次に気がつくのは肉売り場です。白や透明のトレーに盛られた、たくさんの豚肉や鶏肉の中で光っているのが“トレーのない”肉類。手で持とうとするとなんとなく違和感を覚えることがありますが、真空パッケージなので心配ありません。

このノントレー包装は新しい取組みなので、普及するにはまだまだ時間がかかるかも知れません。が、消費者の優先的に購入するなどの支援があれば、早期に普及することも可能かも知れません。

そして、店内をぐるっと回って、次に気が付くのは詰め替え用品。商品としては洗剤類が多いです。これらの本体容器は重いのでプラスチックの使用量も多く、硬いた

めにかさばります。詰め替え容器は、本体容器のボトルごみを減らすことができる優れた取り組みで、日本ではかなり広まっています。

最後に、レジで配布されるレジ袋。このレジ袋ごみを抑制しようとする取り組みが「レジ袋有料化」です。ポイント制や値引きなどもありますが、削減効果は50%程度ですが、有料化の効果は90%以上です。

